

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業支援課  
 担当名：経営革新支援担当  
 内線：3910 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	課題解決型企業間連携支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	中小企業イノベーション支援事業費	
事業期間	令和元年度～ 令和3年度	根拠法令	中小企業基本法、県中小企業振興基本条例			宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
					分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援			
1 事業概要				5 事業説明					
<p>AIやIoTの進展、大企業を中心とした企業間連携の進展、生産年齢人口の減少など社会が大きく変わる中で、本県経済の活力を維持するために、県内中小企業の稼ぐ力の向上を図ることが必要である。</p> <p>そこで、県内企業が連携して新製品等の開発に取り組むことにより、意欲ある県内企業がお互いの強みを発揮して課題を解決するための取組を支援する。</p> <p>(1) シニアコーディネーター設置費 活動が見込みを下回ったことによる減 △2,975千円</p> <p>(2) 企業間交流会開催事業 交流会開催回数を見直しによる減 △315千円</p> <p>(3) 審査会開催事業 審査会を開催しなかったことによる減 △210千円</p>				<p>(1) 事業内容 県産業振興公社に設置するコーディネーターを中心として企業間交流を実施するとともに、コーディネーター及び専門家派遣による研究開発支援、試作品開発費用助成を通じて、企業同士の連携による新製品開発等及び販路開拓を支援する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 企業間交流の実施 ・県産業振興公社に設置するコーディネーターを中心に、あらかじめ設定したテーマに基づき交流会を実施 ・交流会から新製品開発等を目指す企業間連携グループを組成 イ コーディネーターによる支援 ・企業間連携グループの定期的な勉強会開催支援、研究開発支援、専門家派遣による技術支援 ウ 試作品開発費用助成及び販路開拓支援 ・試作品等開発支援補助金により連携グループによる試作品等開発を支援 ・開発した新製品等の販路開拓支援</p> <p>(3) 事業効果 ・企業間連携グループの試作品開発等を支援することにより、意欲ある県内企業がお互いの強みを発揮して課題解決を図り、稼ぐ力の向上が図られる。 ・企業間連携の促進による新たな取引関係の形成や、専門家の技術支援による企業の生産性・技術力の向上が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・企業間連携により各企業の強みを発揮できるとともに、必要に応じて大学・研究機関とも連携しながら実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ・シニアコーディネーターの活動が当初の見込みを下回ったことによる減額 ・交流会の開催回数を見直したことによる減額 ・審査会を開催しなかったことによる減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 事業者0									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,500							△3,500	15,184
現計額	18,684							18,684	